

報告・協議 2

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

このことについて、別紙のとおり報告します。

令和3年9月10日

広島県教育委員会教育長 平川理恵

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

1 調査実施期日

令和3年5月27日（木）

2 調査実施学校数（県内公立学校）等

	調査実施学校数	集計対象者数
小学校第6学年，義務教育学校前期課程第6学年，特別支援学校小学部第6学年	453校	23,103人
中学校第3学年，義務教育学校後期課程第3学年，中等教育学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年	238校	20,070人

3 教科に関する調査の結果

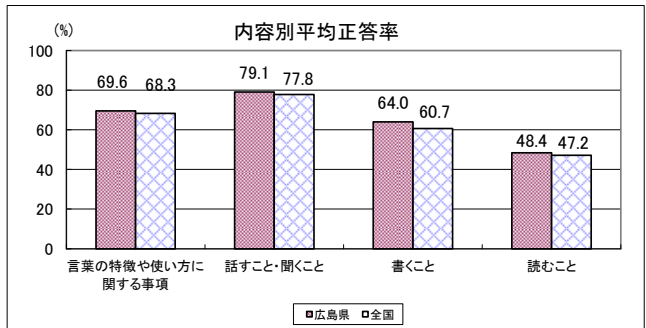
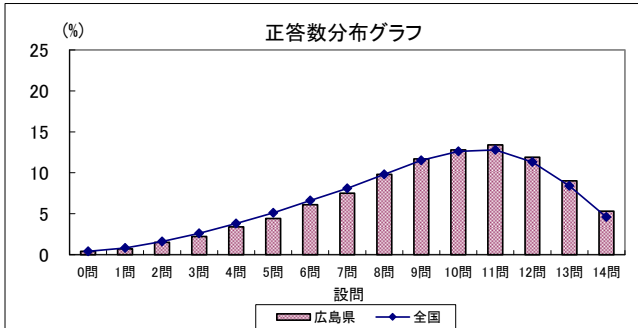
- 小学校は，国語において，平均正答率が全国を上回っている。算数において，平均正答率が全国と同程度である。
- 中学校は，国語及び数学において，平均正答率が全国と同程度である。

		小学校		中学校	
		国語	算数	国語	数学
平均正答率 (%)	広島県	66	70	65	57
	全国	64.7	70.2	64.6	57.2

小学校 国語

○ 国語については、平均正答率が66%で、全ての内容において平均正答率は全国平均より高い。

国語



正答率上位2問

- 面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する (設問 2二) 87.6% (全国 87.5%)
- 漢字を使って書き直す(げんいん) (設問 3三(1)エ) 83.1% (全国 79.0%)

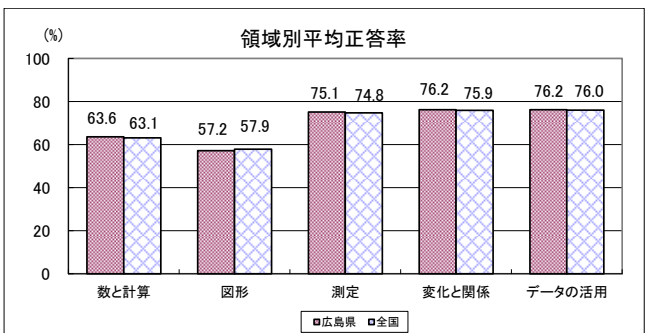
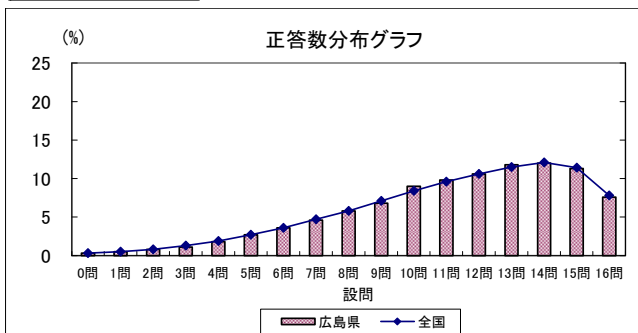
正答率下位2問

- 面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く (設問 2四) 30.6% (全国 29.7%)
- 面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く (設問 2三) 35.9% (全国 34.4%)

小学校 算数

○ 算数については、平均正答率が70%で、領域別では、「数と計算」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の平均正答率は全国平均より高いが、「図形」の平均正答率は全国平均より低い。

算数



正答率上位2問

- 6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ (設問 3(1)) 95.7% (全国 95.8%)
- 学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ (設問 3(2)) 90.9% (全国 90.7%)

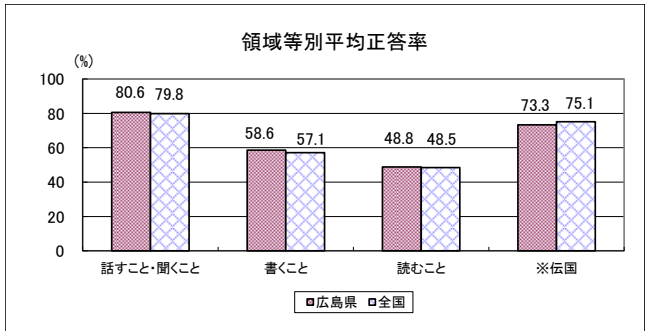
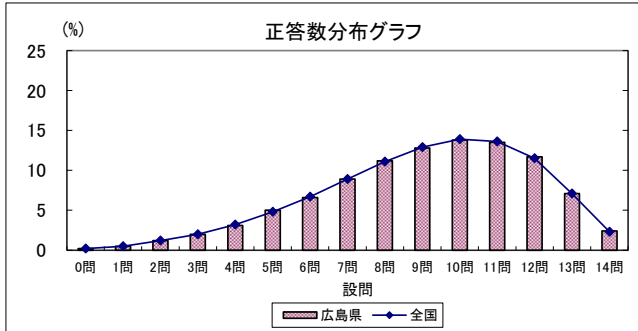
正答率下位2問

- 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く (設問 2(3)) 46.7% (全国 46.0%)
- 帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く (設問 3(4)) 52.1% (全国 52.0%)

中学校 国語

- 国語については、平均正答率が65%で、領域等別では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の平均正答率は全国平均より高いが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率は全国平均より低い。

国語



正答率上位2問

- 漢字を読む (伸ばして)
(設問 4-①) 97.5% (全国 97.5%)
- 話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する
(設問 1-②) 92.3% (全国 92.5%)

正答率下位2問

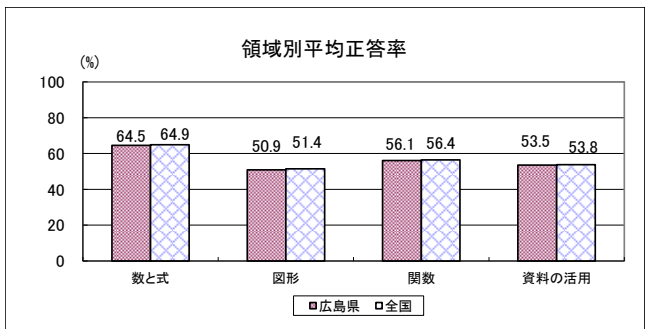
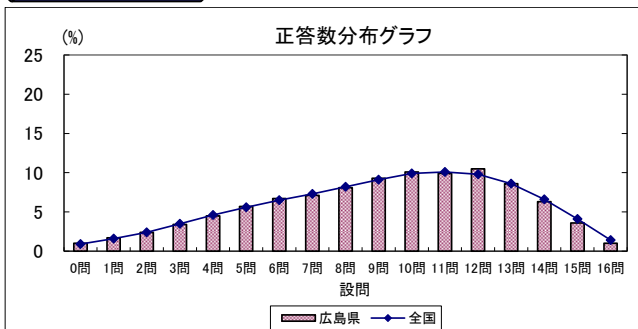
- 「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く
(設問 3四) 22.7% (全国 20.5%)
- 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する
(設問 2一) 26.2% (全国 24.8%)

※伝国…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

中学校 数学

- 数学については、平均正答率が57%で、全ての領域において平均正答率は全国平均より低い。

数学



正答率上位2問

- 与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める
(設問 7(1)) 93.4% (全国 93.5%)
- 反復横とびの記録の中央値を求める
(設問 5) 83.9% (全国 84.5%)
- 気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を書く
(設問 8(1)) 83.9% (全国 83.0%)

正答率下位2問

- 「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する
(設問 8(3)) 10.5% (全国 11.1%)
- 与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する
(設問 7(2)) 27.8% (全国 27.7%)

特徴的な問題（正答率の最も低い問題）

小学校 国語

県 30.6%
全国 29.7%

【読むこと】 説明的な文章を読み、分かったことをまとめる（大問2「面ファスナー」）

2 四 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる問題。

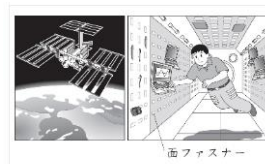
- ・ 面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかを50字以上70字以内でまとめて記述する問題

【資料】

また、しっかりとくっつき簡単にはがすことができる面ファスナーは、宇宙でも使われています。地球のまわりを回る国際宇宙ステーションの中は無重力状態のため、物がうかびます。そこで活躍しているのが面ファスナーです。国際宇宙ステーション内のかべや天井には、あらゆる場所に面ファスナーがつけられています。ペンやスプーン、カメラやコンピュータなど、身の回りの全ての物が固定できるようになっているのです。

（正答例）

面ファスナーはしっかりとくっつき簡単にはがせることから、物がうかぶ国際うちゅうステーションの中で、身の回りの全ての物の固定に使われている。（70字）



国際宇宙ステーションとその内部

【主な特徴と指導改善のポイント】

○文章中から目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。また、2 三の課題と同様に、複数の情報を関連付けて読むことに課題がある。

⇒文章を要約するためには、目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明することが大切である。また、同じ文章を読んでも、読み手の目的によって内容の中心となる語や文は異なるため、要約した文章も異なるものになることも確認し指導することが大切である。

中学校 数学

県 10.5%
全国 11.1%

【データの活用】 データの傾向を読み取り、批判的に考察して判断すること（大問8 キャンプ場の気温）

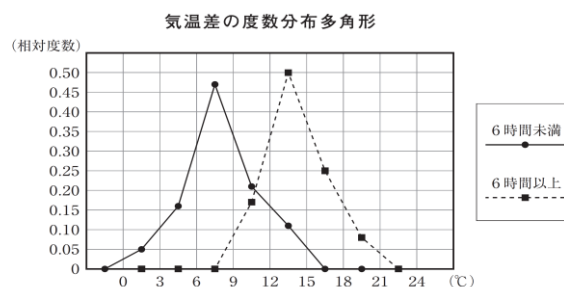
8 (3) データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題

（正答例）

2つの度数分布多角形が同じような形で、^(a) 6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にある。したがって、^(b) 日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある。

※(a)(b)は、下記の（正答の条件）に関わる記述

- (3) 桃花さんは、前ページの気温差の度数分布表をもとに、横軸を気温差、縦軸を相対度数として度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。



気温差の度数分布多角形から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

【主な特徴と指導改善のポイント】

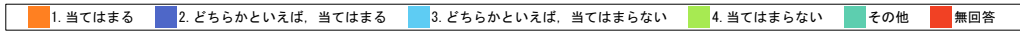
○データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

⇒日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、統計的に問題解決することができるように指導することが大切である。その際、問題を解決するために計画を立て、必要なデータを収集して処理し、データの傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断するという一連の活動を充実することが大切である。

児童生徒質問紙調査項目の経年変化①

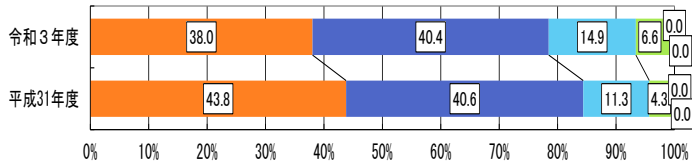
- ◆ 「自分にはよいところがある」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が、小学校で減少。
(小学校: ▲6.0ポイント)
- ◆ 「将来の夢や目標を持っている」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が、小・中学校で減少。
(小学校: ▲5.8ポイント, 中学校: ▲3.4ポイント)

児童生徒質問紙 自分には、よいところがあると思いますか

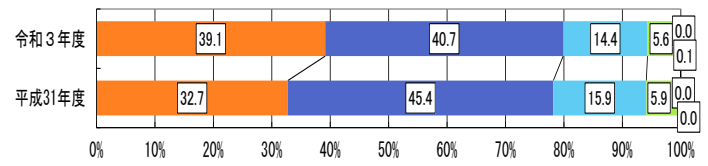


【広島県】

小学校

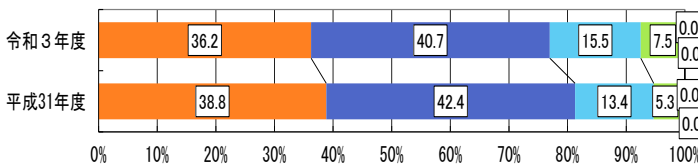


中学校

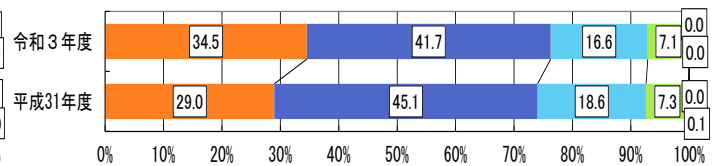


【全国】

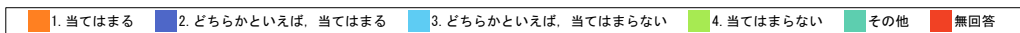
小学校



中学校

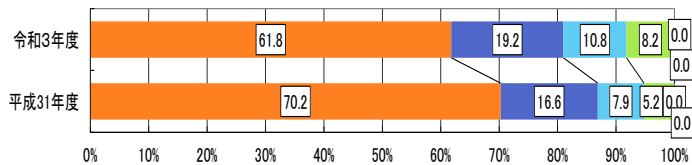


児童生徒質問紙 将来の夢や目標を持っていますか

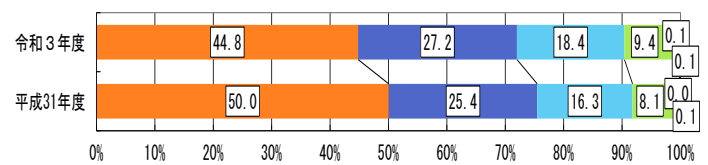


【広島県】

小学校

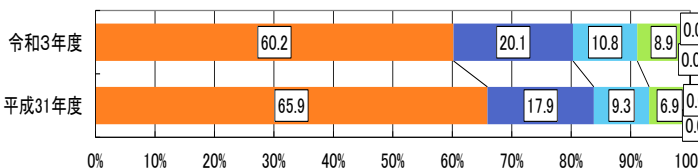


中学校

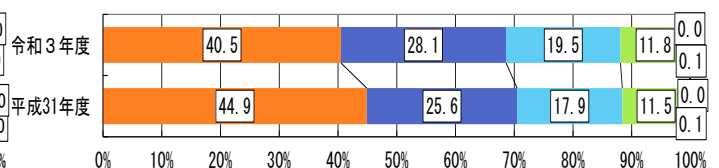


【全国】

小学校



中学校



児童生徒質問紙調査項目の経年変化②

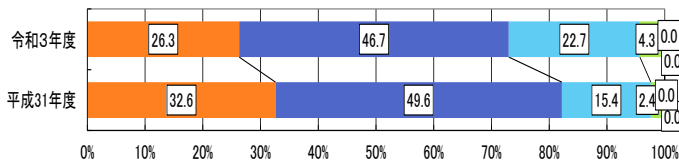
- ◆ 「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が、小・中学校で減少。
(小学校：▲9.2ポイント, 中学校：▲4.7ポイント)
- ◆ 「学校に行くのは楽しい」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が、小・中学校で減少。
(小学校：▲4.2ポイント, 中学校：▲1.6ポイント)

児童生徒質問紙 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

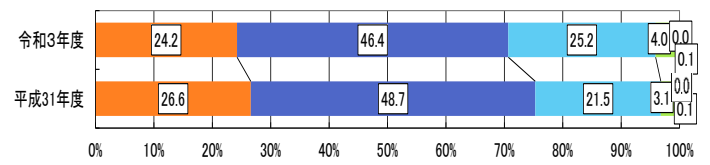
1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答

【広島県】

小学校

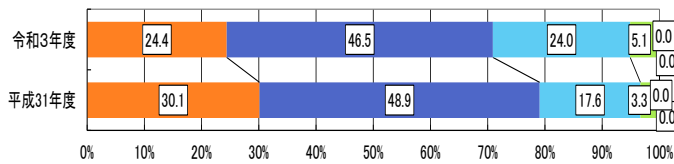


中学校

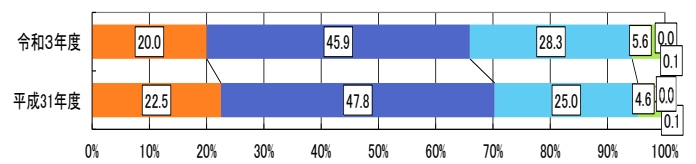


【全国】

小学校



中学校

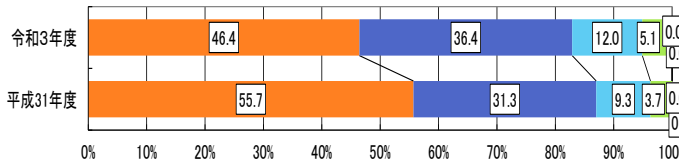


児童生徒質問紙 学校に行くのは楽しいと思いますか

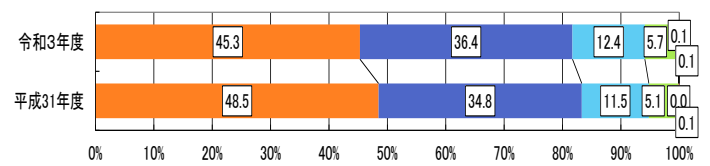
1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答

【広島県】

小学校

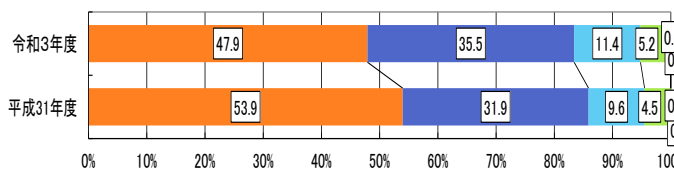


中学校

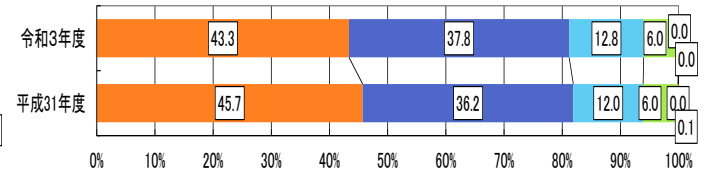


【全国】

小学校



中学校



新型コロナウイルス感染症の影響による学校の臨時休業と児童生徒の学習状況・学校の取組①

- ◆ 臨時休業期間中、家庭学習の内容として「教科書に基づく学習内容の指示」や「学校作成のプリント等の配布」を課した小中学校が約90%。
- ◆ 臨時休業期間中、家庭学習の内容として「学校作成の学習動画等の活用した学習」を課した小中学校が約10%、や「同時双方向型オンライン指導を通じた学習」を課した小中学校が約1%。

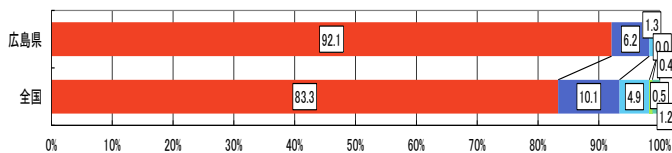
学校質問紙

臨時休業期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか

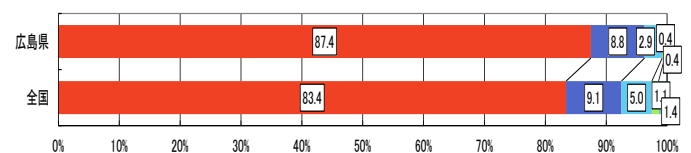
1. 基本的に全校で実施 2. 一部の学年・学級で実施 3. 実施していない 4. 学校として統一的に把握していない 5. その他、無回答

教科書に基づく学習内容の指示

小学校

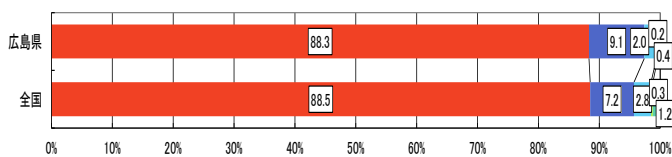


中学校

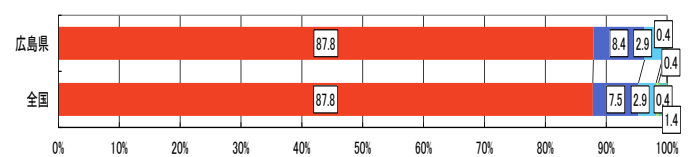


学校が作成したプリント等を配布（電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む）

小学校

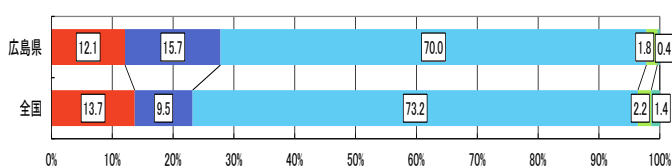


中学校

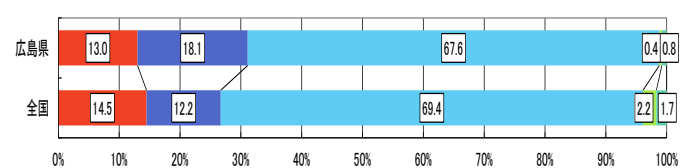


学校が作成した学習動画等を活用した学習

小学校

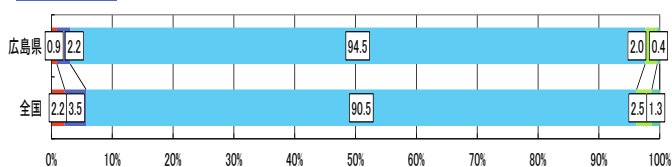


中学校

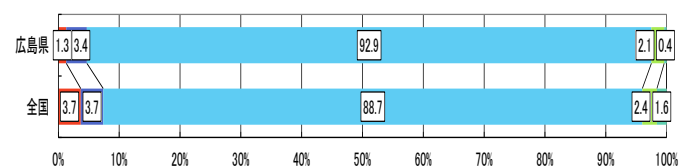


同時双方向型オンライン指導を通じた学習

小学校



中学校

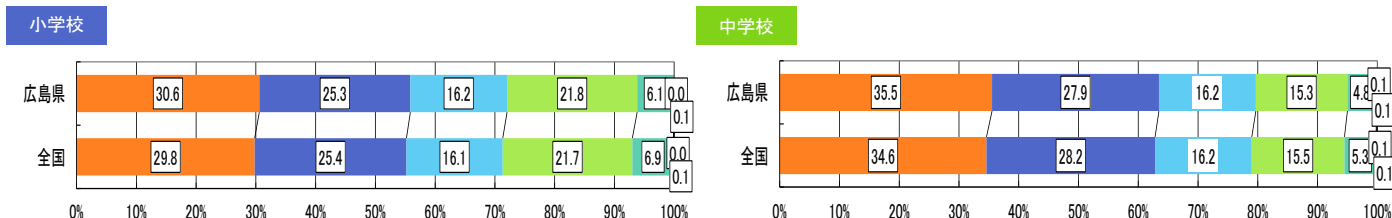


新型コロナウイルス感染症の影響による学校の臨時休業と児童生徒の学習状況・学校の取組②

- ◆ 臨時休業期間中、「勉強について不安を感じたか」との質問について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」との回答が、小学校で55.9%、中学校で63.4%。

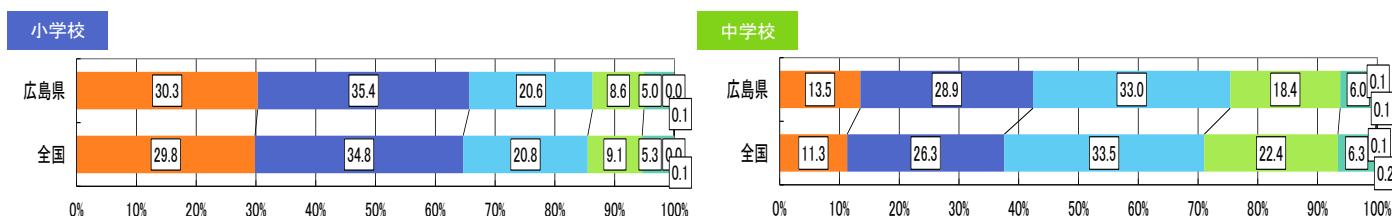
児童生徒質問紙 臨時休業期間中、勉強について不安を感じましたか

1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない その他 無回答



児童生徒質問紙 臨時休業期間中、計画的に学習を続けることができましたか

1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない その他 無回答



児童生徒質問紙 臨時休業期間中、規則正しい生活を送っていましたか

1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない その他 無回答

